

まちプロ会議

第8回

2024.10.19

14:00~16:00

蒲郡市民体育センター
大会議室

- リーディングプロジェクトの共有
- マスタープランのコンセプトやデザイン検討
 - 前回のWSと社会実験を踏まえたプランの説明
 - プランに対しての意見共有
- 各プロジェクトチームの報告
 - プロジェクトチームからの共有事項

01 マスタープランの説明

ポートタウンまちづくりデイズで見えてきたニーズや、第7回まちプロ会議にて皆さんより頂いた意見を基に、蒲郡東港地区らしいマスタープランを検討しています。

【動線デザイン】 県道蒲郡港線

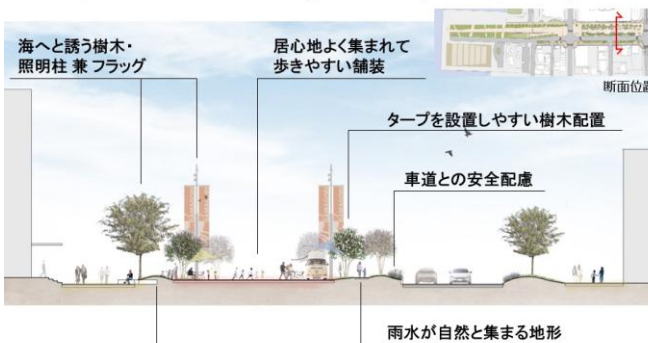
- ・選択性の高く、誰もが使える歩行者動線
- ・車と歩行者の分離、安全な境界
- ・搬出入車両のための使いやすい動線



歩行者のためのプロムナード空間とし、真夏でも熱くならない舗装材や樹木による木陰を多く作ることで、訪れる人にも相応しい豊かな歩行空間。

【機能デザイン】 県道蒲郡港線

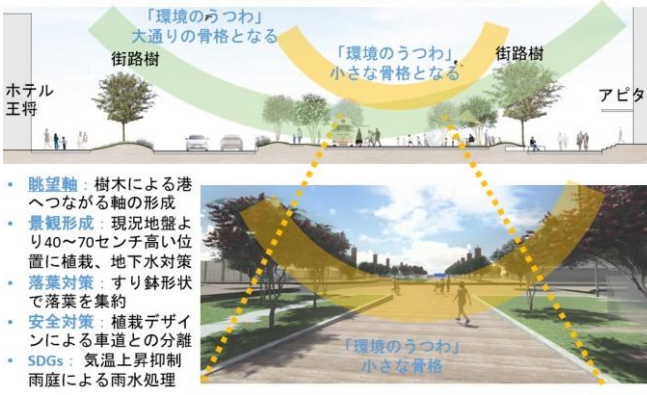
- ・意匠性と機能性の両立した空間
- ・つかいやすさの追求：日常＋非日常



将来のイベント利用や常設のカフェ設置など、海へつながる風景を大切にしつつ、一部ステップをつくり、座れる設えなどを検討。

【植栽デザイン】 県道蒲郡港線

- ・つながる緑、広がりゆく港の風景につづく



40cm～70cm地盤をあげ、「環境の器」となるすり鉢状の地形は、雨水や落ち葉を自然と集める機能を発揮し、車道との安全な境界。

【照明デザイン】竹島ふ頭



※提示している現状のプランは一例です。

安心安全な夜を作り、深夜には電力を抑えて省エネ化しながら人々を導く。駅前から港へといざなう明かりの回廊。

02 まちプロ会議の位置づけ

蒲郡市みなとみらい課：成瀬さん

- ハコもの行政ではなく、市民の方々と意見交換をしながら進める公民連携手法で進めています。
- 蒲郡まちプロ会議では、利用想定者からの意見聴衆のためのWS・計画への反映過程で規模感を把握するための社会実験・組織的に活用できる体制を整えるための分科会の3つを通し、未来の東港地区実現を目指しています。



04 伊勢湾フェリー特別運航社会実験



10月12日（土）～14日（月祝）にかけて、蒲郡市から鳥羽市を結ぶ伊勢湾フェリー特別運航社会実験に加え、『HARBOR MARKET』仮説ターミナルミニ実証実験を実施しました。朝早くから設営をお手伝いしてくださった方、フェリーに乗船してくださった方、ありがとうございました。

05 今後のまちプロ会議スケジュール

※日時は変更となる場合がございます。



